



当JAでは、自己改革を着実に実践するために自己改革ベンチマークを設定

- 1 組合員との徹底した議論
- 2 農家所得向上と地域農業振興にかかる取り組み
- 3 准組合員の農業応援団化の取り組み

を3つの柱とし具体的な行動計画、目標等を設定し進捗管理をしています。

平成29年度の取り組み実績（抜粋）

- 農業塾の栽培技術指導により参加者が産直施設や朝市への出荷者となるよう支援 
- 営農渉外担当者を配置し「出向く体制の強化」 
- 学校給食に「かぶとまい」寄贈 
- 出荷組合等の部会組織と意見交換会を開催 
- 学童体験農園（農産物の定植・収穫、田植え・稲刈） 
- 災害・防災対応品を112の支部へ寄贈「リヤカー」「発電機」「テント」 
- 親子米作り体験・子どものうぎょうきょうどうくみあいなど農業体験を行い、地域農業を大切に思う地域住民を増やした 
- 販売に関する支援 朝市の開催 農業応援チケット・グリーンプラザクーポン券の発行 かぶとまい(ミルクQueen)の普及推進 
- 6次産業への取り組み JA海部東管内で作られた「あいちのかおり」を原材料にしたオリジナルの「どぶろく(あまの和)」 「甘酒(あまの雫)」が新登場 
- 地域イベントに参加・協力(わくわくチャリティフェスタ・あまつり協賛出店) 

第23回通常総代会 8議案すべて可決承認 自己資本比率は22.30パーセント

当JAは6月23日、あま市美和文化会館で第23回通常総代会を開きました。総代500人のうち、書面議決を含め444人が出席。七宝地区の佐藤薫さんを議長に8議案と附帯決議(案)が審議され、全て原案通り可決承認されました。また、地域農業ビジョンを策定し、組合員の皆さまの声を反映していきながら地域農業振興に取り組んでいきます。平成29年度の事業総利益は18億8千万円、計画対比102.4%の実績をあげることができました。



平成30年度は次の6項目を重点項目とし、取り組んで参ります

- 「JA自己改革の実践」 『JA自己改革ベンチマーク』で設定した農家所得向上への支援や、意見交換会などを通じた組合員との徹底した議論及び准組合員の地域農業応援団化への支援等について、着実な実践を目指します。
- 「地域農業の振興」 『地域農業ビジョン』に掲げる具体策の実施により、次世代につなげる地域農業の支援に努めます。
- 「くらしの支援」 組合員・利用者に対して満足と安心を提供するため、資産管理・年金・相続などの相談や万が一の保障についてのアドバイスなど、くらしの問題に的確に対応します。
- 「組合員・利用者とのつながり強化」 支店を重要拠点として位置づけ、組合員・利用者のニーズに対応できるようにCS(顧客満足)向上活動や充実したサービスの提供によりつながりを強化し、JAファンを増やします。
- 「地域に根ざした貢献活動」 地元行政との連携や協力などによる地域に根ざした貢献活動により、JAの存在価値を高めます。
- 「組織・経営基盤の強化」 専門的知識や行動力のある人材の育成の取り組み及び、リスク管理への対応によって組織・経営基盤を強化します。